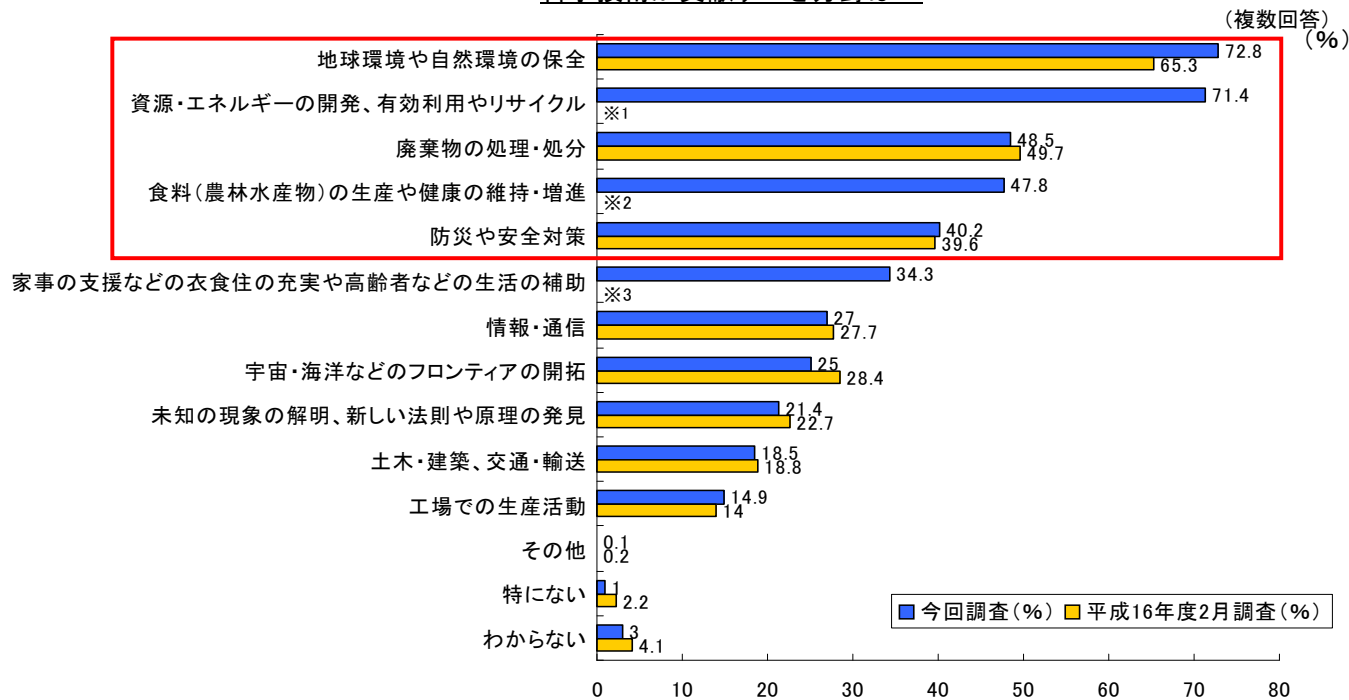


世論調査 ～科学技術が貢献すべき分野～

○ 科学技術が貢献すべき分野として、環境・エネルギー・食料・防災等が上位を占めている。

科学技術が貢献すべき分野は？



(注) 平成16年2月調査では、「あなたは、科学技術が今後どのような分野に特に貢献すべきだと思いますか。」と聞いている。

※1 平成16年2月調査では、「資源の開発やサイクル」が60.7%、「エネルギーの開発や有効利用」が58.7%となっている。

※2 平成16年2月調査では、「健康の維持・増進」が42.6%、「食料(農林水産物)の生産」が31.7%となっている。

※3 平成16年2月調査では、「高齢者や身体障害者の生活補助」が41.9%、「家事の支援や衣食住の充実」が16.1%となっている。

出典：内閣府「科学技術と社会に関する世論調査」(2007年12月)

今後の重点化の在り方に関する提言

○ 様々な提言において、既存の重点分野等にとらわれることなく、我が国の将来像を見据え、それを実現するための戦略策定が重要であるとの指摘がなされている。

総合科学技術会議 第3期科学技術基本計画のフォローアップにおける提言

- 競争力の維持・強化のために、ある程度の**選択と集中は必要であり、分野を設定したことは妥当だが、これまでの分野設定については見直しの余地がある**。日本の得意分野、直接多くの人々の幸福につながるような研究開発を中心に集中投資すべきである。とりわけ、二酸化炭素の削減目標の達成に必要な技術革新やライフスタイルの変更等、**幅広いイノベーションを実現するための重点化に留意すべきである**。
- **分野別推進戦略に掲げる研究開発課題の研究開発目標は、数が多い上、非常に細分化されており、上位に位置する政策目標と各課題や研究開発目標との関係も分かりにくい**。日本の将来像を見据えた上で、**解決すべき大きな課題を設定し、それを解決・実現するための戦略を策定するという一連の流れの中で、実効性のある研究開発課題を設定していくべきである**。

※総合科学技術会議(平成21年6月19日)資料より

(社)日本経済団体連合会からの提言

- 成果の社会還元、イノベーションの視点を一層重視し、**我が国の未来を見据えた課題や経済社会システム(①成長力強化、②低炭素・循環型社会、③健康長寿、④安全・安心・快適社会等)を描いた上で、その解決、実現に向けた具体的な成果目標(具体的な商品、サービス、システムの実現を含む)を時間軸とともに明確化し、我が国の主導権を握るべき研究開発や実現に必要な施策等を戦略的に展開すべきである**。

※第6回基本計画特別委員会(21.10.1)資料より

日本私立大学団体連合会からの提言

- **社会のニーズから必然的にイノベーション創出に向けた国際的な開発競争が著しい分野、あるいは我が国として研究開発のイニシアティブを維持・強化すべき分野などへの重点投資は依然として不可欠である**。裾野の広い学術研究に対する振興支援と重点的投資とのバランスのとれた政策を検討されたい。

※第7回基本計画特別委員会(21.10.16)資料より